

# 真砂小学校区コミ協だより

第23号

平成29年8月1日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会

編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

## 会長就任に当たって

佐藤 昭

## 新会長に佐藤昭氏



このたび定期総会におきまして、真砂小学校区コミュニティ協議会の会長に選ばれました佐藤昭です。日頃コミ協事業の推進にご理解とご協力を賜りありがとうございます。感謝しております。これからも皆々様・自治会及び関係各位のお力添えを頂きながら「快適・安全・安心」を目指した活動をさせて頂く所存でございます。

近年は当区も含め「年少者人口」が減少し、住民の「高齢化率」が高くなつて、地域の活性化力の低下が懸念されて来ております。個性的で活力のある街づくりを立案するのも「道半ば」ではあります。「真砂小学校区コミュニティ協議会」地域活性化5ヶ年計画が実施中であり「大人も子供も夢馳せる「イルミネーション点灯事業」、文化・芸術の香り豊かな「真砂文化祭」、災害に対する「防災講演会」等と福祉、青少年健全育成、文化、スポーツ、交通安全・防犯、生活環境、防災、広報などの充実された部会活動があり、真砂地区は「高齢化地域」などではなく、「健康な長寿者が多く住む町！」だと思っております。

これからも「お早うございます、こんにちわ！」の可愛い声が行き交い、響き渡って笑顔がいっぱいほころぶ地域に持つて行きたいと思っております。

## 「平成29年度総会」開催―役員体制と事業計画・予算決まる―

### よろしくお願いします。前川倫子



この度真砂コミ協副会長になりました前川倫子です。地域的情勢が年々変化する中で、実情をよく把握しながら、各自治会・構成団体の皆様と協力して活動していけたらと思います。

また、各自治会等では、女性の方々がたくさん活動されておられますが、その女性の力や声をより大きなものにするための仲介人になれたらと思います。

微力ではありますが、みんなが「この地域に住んで良かった!」と思えるようなまちづくりのための一助になれるよう努めたいと思います。よろしくお願いたします。

### 副会長就任挨拶 高田 豊



この度副会長に就任しました小針台自治会の高田豊です。現在自治会では会長を務めさせていたただいておりますが、『自治会とは?』『コミ協とは?』『その役員がなすこととは?』未だに試行錯誤しております。

今の私の答えは『自治会は自分の生活エリア』『コミ協は生活地域』『役員は会員の皆様の代表としてより良い生活環境を維持するための奉仕人』と考えております。

これから佐藤会長の下、真砂地区の皆様が楽しく安全な生活ができる環境を整えるために頑張りたいと思っております。未熟者ですがよろしくお願いたします。

## 平成29年度総会

於真砂会館

5月13日(土)平成29年度真砂コミ協総会が行われた。出席者30名(委任状出席者含め39名で出席率95%、総会は成立となった)議長には角谷輝彦氏(西小針台3丁目自治会長)が選出され議事に入りました。

以下新役員人事と、今年度の予算、事業計画等を抜粋、掲載しました。

### 役員Ⅱ真砂小学校区コミュニティ協議会

会 長	佐藤 昭	新任	倉砂十且
副 会 長	前川 倫子	新任	倉海玄臣
副 会 長	高田 豊	新任	小針台
会 計	二宮 正朋	再任	小針台
事務局 長	池田 葵	再任	倉海玄臣
会計 監 査	高田 龍介	再任	倉砂十且
会計 監 査	八子 聡	再任	倉海玄臣

### 役員Ⅰ各部会会長

福祉部会	前川 倫子	再任	倉海玄臣
青少年健全育成部会	原澤 秀明	新任	倉砂十且
文化部会	高田 豊	新任	小針台
スポーツ部会	下川 信也	再任	倉砂十且
生活環境部会	根本 修一	再任	倉砂十且
交通安全・防犯部会	白杵 健一	再任	西小針台3丁目
広報部会	小林 知昭	再任	倉海玄臣
防災部会	中村健三郎	再任	倉海玄臣

### 退任された役員の方々

会 長	大谷 勇	(倉海玄臣)
副 会 長	根本 修一	(倉砂十且)
副 会 長	佐藤 昭	(倉砂十且)
青少年健全育成部会長	本田 明治	(倉砂十且)
文化部会長	白島 達彦	(倉海玄臣)





5月13日(土) コミ協総会

平成29年度 各部会・コミ協事業

◆福祉部会

・「子供たちと遊び隊」

8月23日(水) 於 真砂会館

・「うきうき元気塾」

9月16日(土) 於 坂井輪コミセン

◆青少年健全育成部会

・「真砂体験教室」

・「まさご」わくわくスクール」

5月13日(土)～2月3日(土) 15回程度

平成29年度予算

単位:円

収入	金額	備考
前年度繰越金	359,512	
運営助成・活動補助金	2,175,000	運営 1,000,000 円、活動補助金 1,175,000 円
事務所借り上げ補助金	514,000	光熱費込み
会費収入金	376,400	構成自治会 3,764 世帯×100 円
雑収入金	95,000	資源回収奨励金
平成29年度総収入	3,519,912	

支出	金額	備考
部会・コミ協事業活動費	2,019,898	部会事業費 1,180,898、コミ協事業費 839,000
コミ協運営費	200,000	事務消耗品費、通信費等
事務所借り上げ費	514,800	月間→賃貸料 37,800、電気・ガス料 5,100
内規会計費	566,000	コミ協運営・活動費
次年度繰越金	219,214	
平成29年度総支出	3,519,912	

各事業計画その1	予算金額	各事業計画その2	予算金額
福祉部会(世代交流他1件)	200,000	広報部会(コミ協だより発行)	167,598
青少年健全育成部会(真砂体験教室)	150,000	防災部会(クロスロードゲーム)	20,000
文化部会(写真教室他3件)	105,000	コミ協事業(第3回真砂祭)	269,000
スポーツ部会(野球大会他3件)	108,300	〃(10周年記念誌発行)	200,000
生活環境部会(飛砂対策他1件)	230,000	〃(防災事業他2件)	370,000
交通安全防犯部会(青パト他)	200,000	事業費合計	2,019,898

・「こま回し・はねつき大会」

7月8日(土)

・真砂小学校文化祭「プレイゾーン」

10月22日(日)

・「スポーツ鬼ごっこ大会」

11月11日(土)

いずれも於 真砂小学校

◆文化部会

・第4回撮影会

6月中旬 於 食育・花育センター

・第9回写真教室

7月中旬 於 坂井輪コミセン

・第1回パソコン教室

9月中旬 於 真砂小学校パソコンルーム

・第6回文化講演会

11月中 場所 未定

◆スポーツ部会

・野球リーグ戦・トーナメント戦

5月中旬～9月末 於 真砂小学校

・第5回町内対抗グラウンドゴルフ大会

9月中旬 於 真砂小学校

・第4回コミ協会長杯争奪ゴルフ大会

10月中旬 於 フォレストカントリー倶楽部

・第3回スポーツ健康教室

2・3月のウィークデー 於 西総合スポーツセンター

◆生活環境部会

・「環境問題研修会」

11月以降 於 西区役所分館会議室

・「浜ニクニクの植栽」

3月中 於 402号線松海が丘地区海岸側

・「海岸協力団体」としての活動

6月28日海水浴場としての安全点検

於 小針浜海岸

◆交通安全・防犯部会

・通学路の安全確保・立哨・青パトによる交通事故防止対策

・地域の海岸、公園等のパトロール、青パトによるパトロール

・コミ協だより第23号、24号の発行

・「真砂文化祭」

10月21日(土)～22日(日) 於 明倫短大

真砂会館などで活動しているグループや地域の芸術家等の発表の場提供

芸術部門発表 10月21日(土)～22日(日) 内容「生花、絵画、写真、書等

芸能部門発表 10月22日(日) 内容「民踊、楽器演奏、合唱等

イルミネーション事業

6月10日(土) 於 真砂小学校グラウンド

真砂小学校と連携し、グラウンドの一部を利用してイルミネーションを飾る。

「真砂コミ協10年の歩み」

5月刊行。関係諸団体に配布。学校教材としても活用。

・「真砂文化祭」

10月21日(土)～22日(日) 於 明倫短大

真砂会館などで活動しているグループや地域の芸術家等の発表の場提供

芸術部門発表 10月21日(土)～22日(日) 内容「生花、絵画、写真、書等

芸能部門発表 10月22日(日) 内容「民踊、楽器演奏、合唱等

イルミネーション事業

6月10日(土) 於 真砂小学校グラウンド

真砂小学校と連携し、グラウンドの一部を利用してイルミネーションを飾る。

「真砂文化祭」

10月21日(土)～22日(日) 於 明倫短大

真砂会館などで活動しているグループや地域の芸術家等の発表の場提供

芸術部門発表 10月21日(土)～22日(日) 内容「生花、絵画、写真、書等

芸能部門発表 10月22日(日) 内容「民踊、楽器演奏、合唱等

イルミネーション事業

6月10日(土) 於 真砂小学校グラウンド

真砂小学校と連携し、グラウンドの一部を利用してイルミネーションを飾る。

「真砂文化祭」

10月21日(土)～22日(日) 於 明倫短大

真砂会館などで活動しているグループや地域の芸術家等の発表の場提供

芸術部門発表 10月21日(土)～22日(日) 内容「生花、絵画、写真、書等

芸能部門発表 10月22日(日) 内容「民踊、楽器演奏、合唱等

イルミネーション事業

6月10日(土) 於 真砂小学校グラウンド

真砂小学校と連携し、グラウンドの一部を利用してイルミネーションを飾る。



# 「区政懇談会」開かる

平成 29 年 6 月 8 日 「平成 29 年度区政懇談会」が坂井輪コミュニティセンターでコミ協出席者 24 名、西區出席者 15 名、司會宮川美根子地域振興係長の下で開催された。



平成 29 年度区政懇談会

連結化を図りたい。

Q (三國義則松海が丘第 4 自治会長)

町内の飛砂被害は人工砂丘のお陰で従来の 10%、20%に減った。西寄りの風で道路を這ってくる砂が大きな原因となっていると思われる。人工砂丘の西側延伸策が効果的ではないのか？

A 海岸の私有地対策が必要で人工砂丘造成西側延伸策等了解得るべく工夫を重ねて行きながら、又他の方法探求も兼ねながら検討を進めたい。

Q (安宅真砂 4 丁目自治会長)

人工砂丘の海岸への通路を立体式にして飛砂の影響が及ばないように出来ないか？

A 通路は考えているがどういうやり方が良いのか検討したい。

## 二、防災組織の在り方について (立石雅昭真砂 3 丁目自治会長の意見交換議題)

Q 要支援者への制度が変わった。しかし災害発生時支援等の取り扱いはどうなっているのか？また市はどのような体制を考えているのか示してほしい。

A 災害時要援護者支援制度の事業説明会で避難行動要支援者援護、①名簿整理、②本人同意のもとに支援者名簿提供をすること、③災害発生の場合に本人同意がなくても支援者名簿を提供すること。等で自治会の皆様の協力を得たい。備蓄食料は分散備蓄を進めている。

Q (伊藤健一松海が丘第 1 自治会長)

A 砂丘補修は 6 月末から実施する。冬季における飛砂防止効果が認められたので、海岸への通路を考案しながら平成 26 年度、27 年度の造成砂丘の

真砂 2 丁目、西小針台 3 丁目には「土砂災害指定地域」がある。避難指示が FM ラジオで放送されるが、この受信機が自治会長宅にしかない。75 歳以上の老人宅とか、要支援者宅に無償配布できないか？或いは指定地域にだけでも、もれなく連絡できる方法を考えて欲しい。

A 土砂災害発生連絡方法は、範囲は限られてはいるが、電話連絡方法は難しい。何らかの解決策を考えたい。FM ラジオは 1 台 1 万数千円するが、老人・要支援者等の世帯が購入の際は、市から 6 千円補助することになっている。

## 三、真砂会館の移転について

(笠原区長より)真砂会館の平成 24 年度改修工事を行ったが、設立 50 年を迎える真砂小学校の平成 34 年度改築に合わせてひまわりクラブの利用を考えていた、改修年月が築後 80 年に変更となったため、真砂会館の移転実現が不可能になった。区長としては会館の別設置方法を考えたいし必要は十分に承知しているので地域の皆様と場所等を含めて相談させていいただきたい。

R (大谷勇松海が丘第 2 自治会長)真砂会館の単独施設設置をぜひ考えて欲しい。

A 今回答する準備もなく、即答できない。何れ相談に応じてもらいたい。



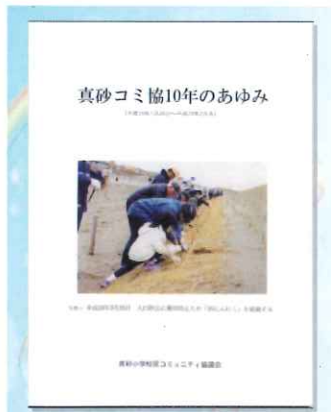
区政懇談会意見交換質疑

## 平成 29 年度第 1 回役員会報告

6 月 16 日 (金)、於真砂会館、欠席者 高田龍介会計監査、他 12 名出席、司會 池田事務局長、各役員自己紹介。佐藤会長挨拶後、根本前副会長より「真砂コミ協 10 年の歩み」の発行報告。真砂コミ協は平成 18 年 7 月 29 日の発足から平成 28 年度で 10 周年を迎えました。一つの節目となりましたので、この度「真砂コミ協 10 年の歩み」を発行しました。内容は、

- ・コミ協結成の背景とその位置付け
- ・コミ協結成前の住民組織
- ・真砂コミ協 10 年の歩み
- ・この地域の成り立ち社会環境の変遷
- ・10 年を振り返って (役員座談会)
- ・資料 (暦年の役員、平成 29 年度までの会則、加盟自治会マップ)。

この記念誌で 10 年間の全体がわかります。400 部の発行で、真砂小学校へも寄贈し教材としても使って貰う事、加盟団体にも配布しました。



コミ協 10 年のあゆみ誌 (A4 版 67 頁)

議事 各部会の事業報告は途中経過事業中心で、スポーツ部会の野球、交通安全・防犯部会の青パト巡回、後は各部会の部会会議開催報告等でした。



# 各部会報告

## 生活環境部会 海岸安全利用点検に参加

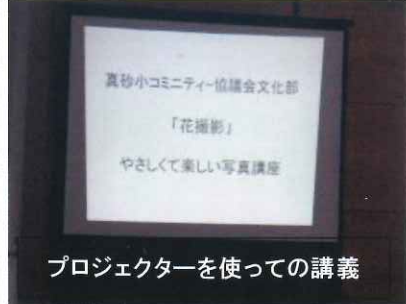
6月28日(水)午後3時30分より小針浜海水浴場の安全利用点検が国交省信濃川河川事務所主催で実施されました。当コミ協が海岸協力団体に指定されていることもあり、国交省の呼びかけに応え生活環境部会から5名が参加(全体では20名程)して点検活動を行いました。点検結果で気づいた点の反省会では国交省が整備した歩道が砂に半分以上埋もれていましたし、キャンプ利用者が残骸を砂中に埋めたり、ビンの割れたのが散在していたりして海岸利用のマンナの悪さが目につきました。

大型ごみの処理はどの機関(国・県・市)がするのか、サンドクリナーを掛けるのか、松海が丘四から海水浴場に抜ける通路の除砂が必要、海岸利用のマンナの表示板が必要など。反省点は、それぞれの機関で検討することになりました。この活動には西区の職員も参加しました。

## 文化部会「第4回撮影大会」

於 食育・花育センター 平成29年6月24日(日)開催。講師 新潟フジカラー 田中英司氏。

今回は、①背景をぼかした写真 ②前ボケの写真 ③丸ボケの写真を撮影テーマとした「花」写真を講師共々撮影しました。参加者13名。



プロジェクターを使っての講義



花育センターでの撮影会



背景ボケを意識した写真



撮影会終了時高田部会長による挨拶

## まさご体験教室「こま回し・はねつき大会」青少年健全育成部会

開催 7月8日(土)AM 9時30分  
場所 真砂小学校体育館  
内容 こま・羽子板の色付けして遊ぶ。ミニ大会も実施。

参加人数	未就学児	小学生	大人	合計
	9人	54人	15人	78人
小学生内訳	1年生	2年生	3年生	4年生
	18人	10人	7人	9人
	5人	5人	5人	5人
	6年生			

和やかな雰囲気の中、色付け作業から始まりました。皆さん個性的なデザインで、色付け作業自体も楽しんでいました。



羽子板の色付け



こま・羽子板の絵付け



こま回し大会



色付け作業が終わると、試しにコマを回してみたり、はねつきをしてみたりと、徐々ににぎやかに、「大会いつやるの?」、「早く大会やろうよ!」、「!」といった声が多くなってきました。ミニ大会は、数人ずつで、コマなら一番長く回していられた子に、はねつきの場合は一人でポンポン突きつけて一番長く落とさずに突いていられた子供に、ノート、ペン、風船、スーパールール等の景品をあげました。また、ミニ大会は、何回でも参加できるようにした為、競技が終わると、また列に並び、競技が終わると、また列に並び、を繰り返して、負けても泣かず、「次こそは勝つぞう!」と皆さん楽しんでいました。

## ◎成果

小学生は低学年の参加が多かったものの、全学年の参加があり、また人数も多かったのが良かったと思います。また、カプラも用意した事で、コマやはねつきに飽きてしまった子も最後まで楽しい時間を過ごせたと思います。

地域の方からコマの回し方を教えていただき、世代間交流もできたと感じますし、子供自身が楽しむだけでなく、子供同士や保護者同士が寄り合う「場」という意味でも、とても意義があると感じました。

◎反省点  
ミニ大会では、コマ、はねつきどちらも高学年の子が有利だったのが、低学年と高学年でグループを分けた方が良かったと思います。



カプラゲーム



はねつき大会

## 編集後記

新会長・新副会長お二人を迎えて平成29年度をスタートさせたコミ協です。10周年記念誌も発行し、充実した1年になる事を期待、今号も「総会」記事が中心になり「部会」の記事は時期的に少なくなってしまうました。今年は空梅雨の模様で、夏は猛暑になるようです。水分補給を忘れないで下さい!